

準備レポート（案）については、本日の委員からのご意見も踏まえたうえで、非公表となる希少動植物の情報について精査し、最終的に「準備レポート」として公表する予定です。そのため、本委員会の時点においては公開要領第2条の「希少動植物の保護」の観点から、表紙・目次を除き非公開とさせていただきます。

川辺川の流水型ダムに関する 環境影響評価準備レポート（案）

令和5年10月

国土交通省 九州地方整備局

目 次

	ページ
まえがき	
第1章 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	1- 1
1.1 事業者の名称及び代表者の氏名	1- 1
1.2 事業者の主たる事務所の所在地	1- 1
第2章 事業の目的及び内容	2- 1
2.1 事業の名称	2- 1
2.2 事業の経緯	2- 1
2.3 事業の目的	2- 1
2.4 事業の内容	2- 1
2.4.1 事業の種類	2- 1
2.4.2 事業実施区域の位置	2- 1
2.4.3 事業の規模及び総貯留量	2- 1
2.4.4 事業に係るダムの堤体の規模及び型式並びにダムの供用に関する事項	2- 5
2.4.5 事業の工事計画の概要	2- 11
2.4.6 その他の事業に関する事項	2- 14
第3章 事業実施区域及びその周囲の概況	3- 1
3.1 地域の自然的状況	3- 1
3.1.1 大気環境の状況	3- 3
3.1.1.1 気象	3- 3
3.1.1.2 大気質	3- 9
3.1.1.3 騒音及び超低周波音	3- 13
3.1.1.4 振動	3- 16
3.1.1.5 悪臭	3- 19
3.1.2 水環境の状況	3- 20
3.1.2.1 水象	3- 20
3.1.2.2 水質	3- 38
3.1.2.3 水底の底質	3- 65
3.1.2.4 地下水の水質及び水位	3- 69
3.1.3 土壌及び地盤の状況	3- 84
3.1.4 地形及び地質の状況	3- 86
3.1.4.1 地形	3- 86

3.1.4.2 地質	3- 89
3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況	3- 93
3.1.5.1 動物	3- 93
3.1.5.2 植物	3-136
3.1.5.3 生態系	3-168
3.1.6 景観、人と自然との触れ合い活動の場の状況	3-199
3.1.6.1 景観	3-199
3.1.6.2 人と自然との触れ合い活動の場	3-207
3.1.7 一般環境中の放射性物質の状況	3-215
3.2 地域の社会的状況	3-217
3.2.1 人口及び産業の状況	3-219
3.2.1.1 人口	3-219
3.2.1.2 産業	3-227
3.2.2 土地利用の状況	3-239
3.2.2.1 土地利用状況	3-239
3.2.2.2 土地利用計画	3-245
3.2.3 河川及び湖沼の利用並びに地下水の利用の状況	3-248
3.2.3.1 河川及び湖沼の利用状況	3-248
3.2.3.2 漁業権	3-250
3.2.3.3 地下水の利用状況	3-255
3.2.4 交通の状況	3-259
3.2.5 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が 特に必要な施設の配置の状況及び住宅の配置の状況	3-262
3.2.6 下水道の整備の状況	3-285
3.2.6.1 公共下水道及び集落排水事業の状況	3-285
3.2.6.2 し尿処理の状況	3-286
3.2.7 環境の保全を目的として法令等により指定された地域 その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の状況	3-289
3.2.8 その他の事項	3-392
3.2.8.1 産業廃棄物の最終処分場及び中間処理施設の分布状況	3-392
第4章 環境配慮レポートに関する内容	4- 1
4.1 計画段階配慮事項の選定及び計画段階配慮事項に関する調査、予測及び評価の結果	4- 1
4.1.1 計画段階配慮事項の選定	4- 1

4.1.2	計画段階配慮事項に関する調査、予測及び評価の結果	4- 5
4.2	環境配慮レポートに対する主務大臣の意見と事業者の見解	4- 11
4.3	関係する行政機関の長からの意見と事業者の見解	4- 14
4.3.1	熊本県知事意見及び事業者の見解	4- 14
4.3.2	八代市長意見及び事業者見解	4- 18
4.3.3	人吉市長意見及び事業者見解	4- 19
4.3.4	あさぎり町長意見及び事業者の見解	4- 21
4.4	環境配慮レポートに対する意見の概要と事業者の見解	4- 22
第5章	環境影響評価方法レポートについての意見と事業者の見解	5- 1
5.1	環境影響評価方法レポートに対する熊本県知事の意見と事業者の見解	5- 1
5.2	環境影響評価方法レポートに対する意見の概要と事業者の見解	5- 6
第6章	事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法	6- 1
6.1	環境影響評価の項目	6- 1
6.1.1	環境影響評価の項目の選定	6- 1
6.1.2	環境影響評価の項目の選定理由	6- 4
6.2	調査、予測及び評価の手法	6- 7
6.2.1	環境の自然的構成要素の良好な状態の保持	6- 7
6.2.1.1	大気環境	6- 7
6.2.1.2	水環境	6- 17
6.2.1.3	土壌に係る環境その他の環境	6- 35
6.2.2	生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全	6- 39
6.2.2.1	動物	6- 39
6.2.2.2	植物	6- 59
6.2.2.3	生態系	6- 75
6.2.3	人と自然との豊かな触れ合いの確保	6- 87
6.2.3.1	景観	6- 87
6.2.3.2	人と自然との触れ合いの活動の場	6- 91
6.2.4	環境への負荷の量の程度	6- 97
6.2.4.1	廃棄物等	6- 97
第7章	環境影響評価の概要	7.1- 1
7.1	環境影響評価に先立っての検討	7.1- 1
7.1.1	ダムの施設等設計の工夫	7.1- 3
7.1.2	試験湛水手法の工夫	7.1- 5
7.1.3	洪水調節操作ルール of 工夫	7.1- 5
7.2	調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果	7.2.1- 1

7.2.1 大気質（粉じん等）	7.2.1-	1
7.2.1.1 環境影響評価の手順	7.2.1-	1
7.2.1.2 調査結果の概要	7.2.1-	3
7.2.1.3 予測の結果	7.2.1-	26
7.2.1.4 環境保全措置の検討	7.2.1-	43
7.2.1.5 事後調査	7.2.1-	47
7.2.1.6 評価の結果	7.2.1-	47
7.2.2 騒音（騒音）	7.2.2-	1
7.2.2.1 環境影響評価の手順	7.2.2-	1
7.2.2.2 調査結果の概要	7.2.2-	3
7.2.2.3 予測の結果	7.2.2-	22
7.2.2.4 環境保全措置の検討	7.2.2-	53
7.2.2.5 事後調査	7.2.2-	58
7.2.2.6 評価の結果	7.2.2-	59
7.2.3 振動（振動）	7.2.3-	1
7.2.3.1 環境影響評価の手順	7.2.3-	1
7.2.3.2 調査結果の概要	7.2.3-	3
7.2.3.3 予測の結果	7.2.3-	13
7.2.3.4 環境保全措置の検討	7.2.3-	44
7.2.3.5 事後調査	7.2.3-	50
7.2.3.6 評価の結果	7.2.3-	50
7.2.4 水質（土砂による水の濁り、水温、富栄養化、溶存酸素量、水素イオン濃度）	7.2.4-	1
7.2.4.1 環境影響評価の手順	7.2.4-	1
7.2.4.2 調査結果の概要	7.2.4-	3
7.2.4.3 予測の結果	7.2.4-	100
7.2.4.4 環境保全措置の検討	7.2.4-	364
7.2.4.5 事後調査	7.2.4-	405
7.2.4.6 評価の結果	7.2.4-	407
7.2.5 地形及び地質（重要な地形及び地質）	7.2.5-	1
7.2.5.1 環境影響評価の手順	7.2.5-	1
7.2.5.2 調査結果の概要	7.2.5-	3
7.2.5.3 予測の結果	7.2.5-	9
7.2.5.4 環境保全措置の検討	7.2.5-	13
7.2.5.5 事後調査	7.2.5-	13

7.2.5.6 評価の結果	7.2.5- 13
7.2.6 動物（重要な種及び注目すべき生息地）	7.2.6- 1
7.2.6.1 環境影響評価の手順	7.2.6- 1
7.2.6.2 調査結果の概要	7.2.6- 3
7.2.6.3 予測の結果	7.2.6-717
7.2.6.4 環境保全措置の検討	7.2.6-1605
7.2.6.5 事後調査	7.2.6-1701
7.2.6.6 評価の結果	7.2.6-1704
7.2.7 植物（重要な種及び群落）	7.2.7- 1
7.2.7.1 環境影響評価の手順	7.2.7- 1
7.2.7.2 調査結果の概要	7.2.7- 3
7.2.7.3 予測の結果	7.2.7-313
7.2.7.4 環境保全措置の検討	7.2.7-630
7.2.7.5 事後調査	7.2.7-692
7.2.7.6 評価の結果	7.2.7-694
7.2.8 生態系（地域を特徴づける生態系）	7.2.8- 1
7.2.8.1 環境影響評価の手順	7.2.8- 1
7.2.8.2 調査結果の概要	7.2.8- 3
7.2.8.3 予測の結果	7.2.8-183
7.2.8.4 環境保全措置の検討	7.2.8-354
7.2.8.5 事後調査	7.2.8-375
7.2.8.6 評価の結果	7.2.8-379
7.2.9 景観（主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観）	7.2.9- 1
7.2.9.1 環境影響評価の手順	7.2.9- 1
7.2.9.2 調査結果の概要	7.2.9- 3
7.2.9.3 予測の結果	7.2.9- 25
7.2.9.4 環境保全措置の検討	7.2.9- 58
7.2.9.5 事後調査	7.2.9- 65
7.2.9.6 評価の結果	7.2.9- 65
7.2.10 人と自然との触れ合いの活動の場（主要な人と自然との触れ合いの活動の場）	7.2.10- 1
7.2.10.1 環境影響評価の手順	7.2.10- 1
7.2.10.2 調査結果の概要	7.2.10- 3
7.2.10.3 予測の結果	7.2.10- 48
7.2.10.4 環境保全措置の検討	7.2.10- 90

7.2.10.5 事後調査	7.2.10-122
7.2.10.6 評価の結果	7.2.10-122
7.2.11 廃棄物等（建設工事に伴う副産物）	7.2.11- 1
7.2.11.1 環境影響評価の手順	7.2.11- 1
7.2.11.2 予測の結果	7.2.11- 3
7.2.11.3 環境保全措置の検討	7.2.11- 7
7.2.11.4 事後調査	7.2.11- 15
7.2.11.5 評価の結果	7.2.11- 15
7.3 環境の保全のための措置	7.3- 1
7.3.1 環境保全措置の比較検討及び内容	7.3- 1
7.4 環境の状況の把握のための措置	7.4- 1
7.4.1 環境の状況の把握のための措置の基本方針	7.4- 1
7.4.2 事後調査の内容	7.4- 2
7.5 事業に係る環境影響の総合的な評価	7.5- 1

第8章 環境影響評価に係る業務の一部を委託された者の名称

代表者の氏名及び主たる事務所の所在地	8- 1
8.1 委託された者の名称及び代表者の氏名	8- 1
8.2 委託された者の主たる事務所の所在地	8- 1

参考資料

- 参考資料-1,2 環境への影響の最小化を目指すための事業者独自の取組
- 参考資料-3 水質
- 参考資料-4 動物・植物・生態系
- 参考資料-5 用語集